

## 癌化学療法輸液約束処方 HL 4

癌種 悪性リンパ種(ホジキンリンパ腫)  
レジメン名 HL4 A-AVD

薬品名(商品名)	一般名	略号	標準投与量	投与経路	投与日	投与時間	1クール期間
アドセトリス	ブレンツキシマブ ベドチン	A	1.2mg/kg	div	DAY1、15	60分	28日間
ドキシソルビシン	塩酸ドキシソルビシン	DXR	25 mg/m <sup>2</sup>	div	DAY1、15	30分	
エクザール	ビンブラスチン	VLB	6 mg/m <sup>2</sup> (最大10mg/body)	div	DAY1、15	30分	
ダカルバジン	ダカルバジン	DTIC	375 mg/m <sup>2</sup>	div	DAY1、15	60分	

div

- ① NS 50ml / 5分
- ② NS 100ml + アドセトリス \_\_\_\_\_ mg / 60分 (最終濃度:0.4~1.2mg/ml)  
(注射水 20ml:アドセトリス溶解用)
- ③ NS 50ml / 5分
- ④ NS 50ml + ソルコーテフ 100mg / 5分 ☆イメンド125mg内服
- ⑤ NS 50ml + アロキシ 1V / 5分
- ⑥ NS 100ml + ドキシソルビシン \_\_\_\_\_ mg / 30分
- ⑦ NS 100ml + エクザール \_\_\_\_\_ mg / 30分
- ⑧ NS 250ml + ダカルバジン \_\_\_\_\_ mg / 60分 ☆投与直前に調製すること  
(注射水 100ml:ダカルバジン溶解用)

⑨ NS 50ml / 5分

<備考>

- ① ダカルバジン投与時は、室内をなるべく暗くし、点滴ルート及びバックを遮光すること。(血管痛対策)  
ダカルバジン調製時も、安全キャビネットを暗くするなど、遮光を心がける。
- ② D1イメンド125mg、D2~イメンド80mgを内服(D15イメンド125mg、D16~イメンド80mg内服)
- ③ アロキシ投与後は1週間はセロトニン受容体拮抗薬は投与しないこと。
- ④ ドキシソルビシン:累積投与量依存的に心筋障害の発生頻度上昇。総投与量500mg/m<sup>2</sup>。
- ⑤ ビンブラスチンによる末梢神経障害(便秘、麻痺性イレウスなど)に注意。
- ⑥ 壊死性抗がん剤であるため、血管外漏出に注意。
- ⑦ Infusion reaction :アナフィラキシー発現時は投与中止。  
アナフィラキシー以外のIRの場合は、アセトアミノフェン、抗ヒスタミン剤、ステロイドなどの前投薬併用で継続可。